

近森病院 画像診断部

部長 田村 淳也

人事体制

2025 年 4 月付で、田村部長心得が部長へ昇進いたしました。役職者は、部長、副部長、副部長心得、主任 2 名、主任心得の計 6 名体制となっています。

・職員数：期首は 36 名でスタートし、4 月に新入職員 3 名を採用しました。年度内の退職者 5 名に対し、現在の職員数は常勤 33 名、パート 1 名の計 34 名です。

・今後の展望：2026 年 4 月には 2 名の新入職員を迎える予定ですが、同時に 2 名の退職予定者もあります。不足人員に関して、中途採用を含めた募集を継続し、人員確保に努めます。

活動状況

1. 部門目標

部門長目標 2025 年は「働きがいがある、働きやすい部署をつくる」と定め、各自主性を尊重して、個人どうしが連動し、仲間が連動し、強いチームをめざした。

中長期の目標に「医療従事者の育成。各層での専門技術を身につける教育・指導を計画的に行っていく」に定め、新人教育と次世代の育成に力を入れた教育を進めた。

育休取得率 100% など、働き方改革を進め、働きやすい職場に改善してきたが、退職者が出てから、休暇確保が困難になってきている。来年度には休暇取得率向上の改善目標をたて、更なる改善を検討していく。

2. 機器報告

【更新】

- ・ 5 月 7 日 骨密度測定装置更新（後継機種、富士フィルム ALPHYS LF へ）
- ・ 10 月 20 日 デジタル式歯科用パノラマ装置更新（朝日レントゲン、アナログからデジタル（フラットパネル）へ）
- ・ 11 月 3 日 外来センター一般フラットパネル更新（キャノンフラットパネル 8 枚と 2 室の立位・臥位撮影台の更新）
- ・ 11 月 5 日 オルソ病院へ一般撮影システム移設（外来センターで使用していたシステムをオルソ病院へ移設した）

【故障（管球交換）】

- ・ 4 月 28 日 本館 1 階 5 番 CT の小焦点フィラメントが切れて管球交換実施
- ・ 10 月 6 日 本館 3 階 B2 室フロント側、スターターエラーが出て管球交換実施

高額医療機器で経過年数が10年を超える機器の報告【表1】

【機器経過年数および価格表】						
	機器名	検査室	推定価格	据え付け年月日	年数	備考
20年以上	北館ポータブル（島津）	北館	¥3,850,000	2002年4月	24年	（フラットパネルは含まない）VHJ推奨機器
	X線制御器（島津）	オルソ		2007年10月9日	18.5年	＊1回、管球交換とコンソールの交換済み
10年以上	RI室（GE）	外来センター1階	¥110,000,000	2011年10月	14.5年	未定
	X線制御器（島津）	外来センター		2011年10月	14.5年	
	北館一般撮影システム	北館	¥18,500,000	2012年4月12日	13.5年	未定
	OP室ポータブル（島津）	OP室	¥3,850,000	2012年9月	13.5年	（フラットパネルは含まない）VHJ推奨機器
	X線制御器（島津）	北館		2012年4月12日	13.5年	
	ハイブリッドOR（キャノン）	本館2階OP室	¥139,700,000	2014年3月	12年	
	IVR-CT（シーメンス）	本館3階A棟	¥214,000,000	2014年7月	11.5年	2026年管球交換（正面）、更新は交渉中
10年未満	造影検査室（X線-TV）（島津）	本館3階B棟	¥27,500,000	2019年9月	6.5年	検討必要（X線管球のみ）¥8,200,000
	X線制御器（島津）	本館1階B棟		2017年5月	9年	
	2層CT（GE Revolution Evo）	本館1階B棟	未定	2018年1月	8年	未定→64列以上の更新も検討
■ 最優先機器 □ 優先機器：保守の中にX線管球が含まれていないものや、保守を結んでいないため、故障すれば買い換えやX線管球交換が必要						

【表1 機器経過年数表】

＊メーカーより保守終了の報告が出ている機器はIVR-CT(2027年12月31日保守終了・シーメンス)とRI装置(2028年12月31日サービス終了・GE)になります。

3. 各検査報告（一般系・CT・MRI・血管造影系（心カテ・IVR-CT等）・RI等）

2025年度の総検査数は107,428件（前年比99.78%）となり、概ね前年並みで推移しました。【表2】

主な検査件数では一般撮影以外はやや増加傾向にあります。【表3】

【表2】 検査総件数と時間外件数

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	前年比
総件数	106,935	103,169	107,492	107,667	107,428	99.78%

【表3】 主な検査件数

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	前年比
一般X線撮影検査	67,304	65,817	68,898	67,363	66,286	98.4%
血管造影検査	4,172	3,994	4,075	4,374	4,514	103.2%
CT検査	22,828	21,741	23,422	23,975	24,381	101.7%
MRI検査	7,014	6,515	6,693	6,518	6,602	101.3%
RI検査	618	533	553	545	585	107.3%

【一般系】

一般撮影件数 46,924件/年、ポータブル撮影件数 19,362件/年で総件数66,286件で前年度より1,077件減少。11月に外来センターフラットパネルを更新しています。

骨密度検査は1,169件/年で前年度より281件減少。5月に機器の更新があり、新しい装置に入れ替わり、撮影時間の短縮ができています。

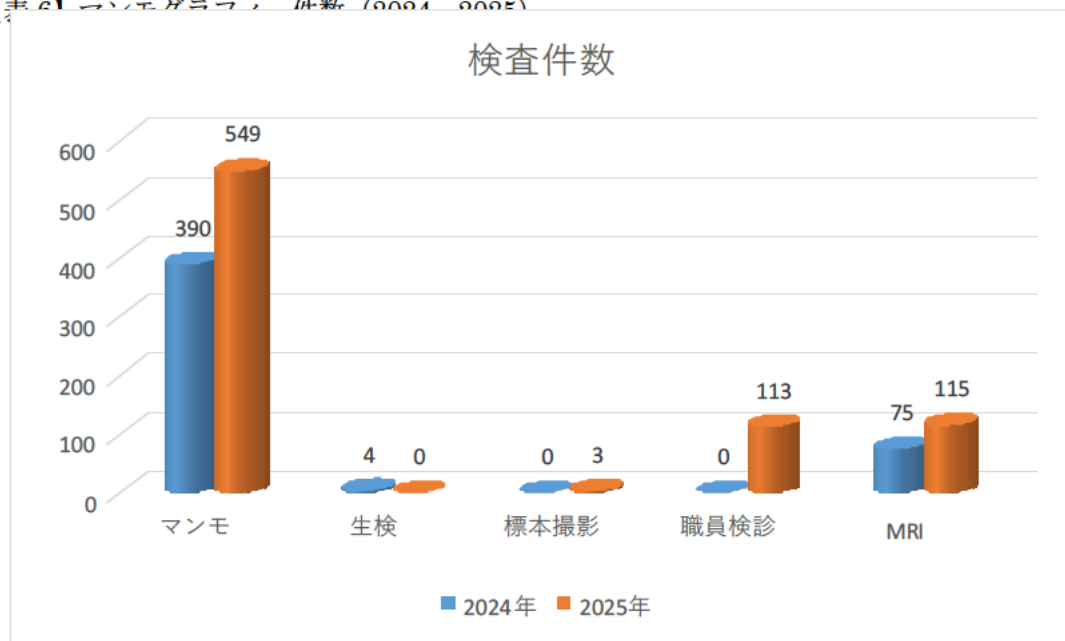
歯科撮影ではパノラマ装置が10月にデジタル化し、画質向上、患者負担が軽減、仕事効率も上がっています。総件数は595件/年で前年度より15件減。【表5】

【表 5】 歯科撮影件数

		2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	前年比
外来	パノラマ	210	166	199	219	230	105.00%
外来	デンタル	134	157	144	165	174	105.45%
入院	パノラマ	145	121	130	107	104	97.19%
入院	デンタル	96	109	92	119	87	73.11%
総件数		585	553	565	610	595	97.54%

マンモグラフィー検査では、2名の認定資格者が増え、現在3名で担当、1名教育指導中です。10月からは職員検診がスタートして撮影技術向上にもつながっています。件数も前年度より、159件増えています。乳房MRI検査のポジショニングも女性技師で対応しています。【表 6】

【表 6】 マンモグラフィー 件数 (2024 - 2025)



【CT 検査】

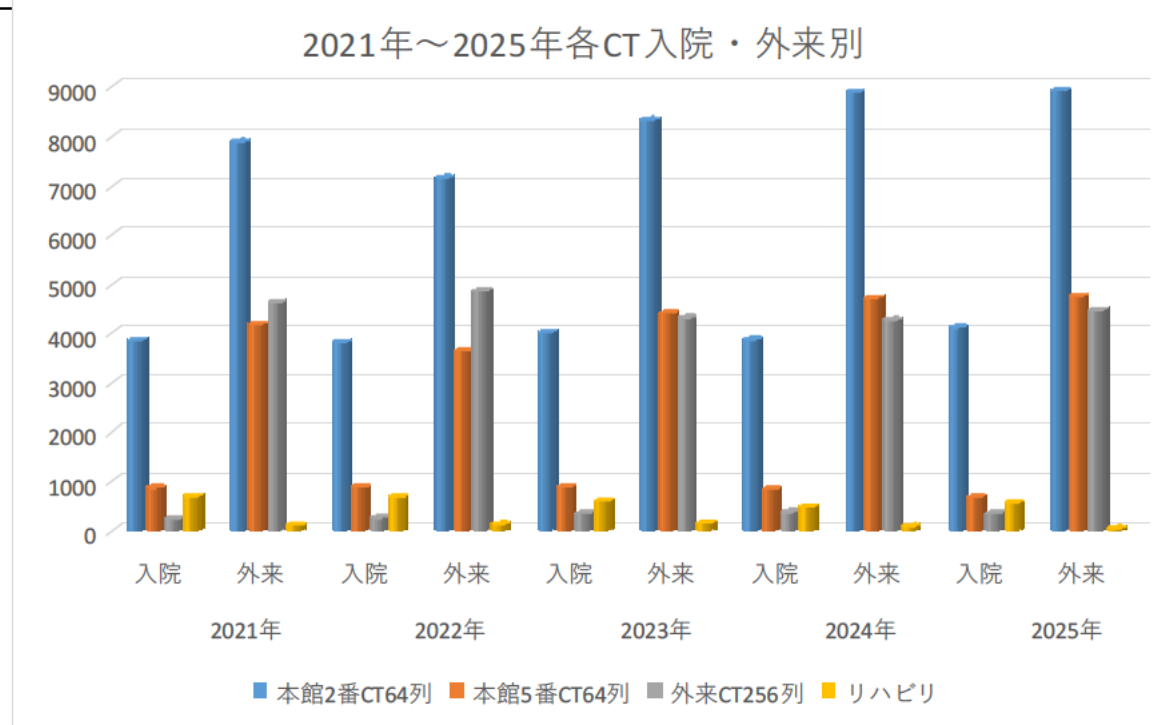
総数に関して前年度に比べ 368 件微増。大きな変化はありません。【表 7】心電図同期系の撮影も同程度でした。3D や MPR など解析業務が増えているため、人数の増員をして、負担軽減に努めています。

2026 年度診療報酬改定では 128 列以上の多列 CT には 100 点の上乗せがされるため、

外来センターCT（256列）の稼働をあげる工夫を検討していきます。

【表 7】

	2021 年		2022 年		2023 年		2024 年		2025 年	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
本館 2 番 CT64 列	3857	7892	3821	7162	4021	8339	3874	8900	4119	8935
本館 5 番 CT64 列	866	4188	881	3644	877	4411	837	4716	671	4757
外来 CT256 列	238	4627	252	4860	344	4318	370	4272	345	4469
リハビリ	687	99	679	124	590	146	477	80	558	40
入外総数	5648	16806	5633	15790	5832	17214	5558	17968	5693	18201
総数	22454		21423		23046		23526		23894	



【MRI 検査】

外来センター1.5T、本館 3T の 2 台で稼働しています。2026 年度秋には外来センター1.5T の機器アップグレードが予定されています。2 台ともに AI 支援ソフトを導入することによ

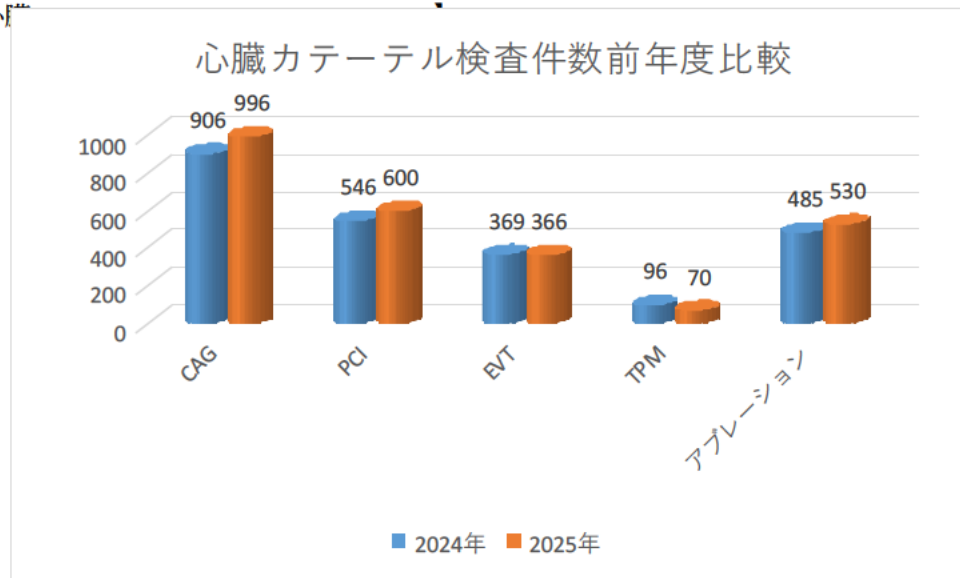
り、稼働率を上げて増枠を予定しています。

総件数 6602 件/年で前年度より 84 件増。外来 MRI 率 43%、本館 MRI 率 57%です。こちら前年度と比較しても変動ありません。本館は夜勤帯および休日も稼働しているため少し件数が多くなっています。県下では 1 台あたりの撮影件数はトップレベルではありますが、近年減少傾向にあります。これは 1 検査あたりの検査時間が増えてきていることがあげられます。効率を上げて増枠することで改善していきたいと考えています。

【血管造影検査】

循環器系検査では CAG,PCI,アブレーションで微増傾向です。EVT は変動ありません。

【心臓カテ】



* 2026 年秋に B2 室（心臓専用血管造影装置）の更新。2027 年には B1 室（汎用型血管造影装置）の更新が予定されています。

【IVR-CT】

実績

（1）脳外科関連件数

- ・血栓再開通療法：51 件
- ・CAS：8 件
- ・脳動脈コイル塞栓術：25 件
- ・脳硬膜動静脈瘻治療：4 件
- ・術前、術後、脳アンギオ：93 件

合計 181 件

（2）放射線科関連件数

- ・TACE：49 件
- ・シャント PTA：125 件
- ・その他（ドレナージ・PICC など）：786 件

合計 960 件

（3）CT 件数

- ・頭部単純ルーチン：61 件
- ・胸部 1 相：17 件
- ・胸部～骨盤：3 件
- ・上腹部～骨盤 1 相：26 件
- ・肝臓ダイナミック：50 件
- ・CT ガイド下：40 件

合計 197 件

機器の老朽化に伴い故障が頻発し、修理費用が増加した。装置更新を計画し、見積り取得および工期の算出を実施した。現状は故障部分を修理して延命を行なう。その期間に多角的に機器の更新やシステムの見直しを図ることとなった。

経緯)

2014年3月に導入し、主に放射線科と脳外科で検査や治療に使用。メーカー（シーメンス）より、2027年12月31日をもって保守終了。但し、部品が供給できるうちは有償で対応は可能である。

現状)

- ①2025年8月15日 血管造影装置正面側の極焦点切れ
- ②2025年11月11日 操作コンソールタッチパネルの落下により交換済み。
- ③2026年1月1日 血管造影装置正面側PC故障にて交換済み。

*①に関して管球交換を行ない延命を行なう

【RI 検査】

総検査件数は585件/年で前年度に比べて40件増。負荷心筋シンチが30件減少しているが、他院から脳血流シンチ、ダットスキャンの検査依頼数が増加している。また、乳腺外科よりセンチネルリンパ節を行なうようになったことが増加に影響している。負荷心筋シンチに関しては減少傾向にあるが、これは外来センターCTの更新により冠動脈CTの検査が増加傾向にあること、更にFFR-CTで虚血評価まで出来るようになったことも要因だと考えられる。

4. 3 班活動報告

線管理班)

- ①年2回の漏洩線量測定
 - ・放射線管理区域の漏洩線量測定を実施（6月/12月）
- ②個人線量管理
 - ・個人線量において、健康管理センターと協力して毎月、線量限度を超えている方にヒヤリングと指導や注意喚起を行なっている
- ③年度線量測定
 - ・据え置き型血管造影装置・CT・RI等、DRL（診断参考レベル）を基準とし、機器が適正な線量で検査できているかを測定して医療放射線管理委員会へ報告している

機器管理班)

- ①CT性能評価のためモーニングスキャンを実施
- ②日常の始業終業点検記録の見直し
- ③NEC 高精細モニター管理を行った（NEC 製モニター45台・EIZO 製モニター9台）

医療安全班)

- ・造影剤漏れのインシデント報告と実際の件数に乖離があるので意識付けを行った
造影剤漏れ件数：総件数33件/年
- ・ポータブルの患者間違い防止のためにバーコードを使用し、効果のほどをデータ取りして検討する
患者間違い総件数：16件（うち4件はバーコード使用で防げた事例）
→「バーコード使用を促し、再発防止に努める」

5. 学術発表・講演会・研修等報告

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
「脂肪抑制」 「近森病院のインシデント報告～ 義足吸着・耳つぼジュエリー～」	西田和弘 川崎友寛	第7回高知MRI技術研究会	5月31日 高知
「近森病院のインシデント報告」	川崎友寛	第21回日本医療マネジメント学会～高知県支部～	8月24日 高知
「chikamori's MRA」 」	西田和弘	第8回高知MRI技術研究会	11月29日 高知
「当院での心カテ室における放射線 防護の工夫」	田鍋友啓	第21回中四国放射線医療技術フォーラム	11月22日 高松
「テーマ 守破離」	門脇 圭治（座長）	第22回四国お遍路ライブ	10月11日 愛媛
「放射線技師とチーム医療と未来への 挑戦」	門脇 圭治	日本放射線技術学会中国・四 国支部第26回夏季学術大会	7月6日 広島
「CMDとFCAの世界について学ん でみよう！」	門脇 圭治（演者）	CVIT-TV メディカルスタッ フ役員会主催第24回Web	3月12日 Web
「医療（患者）被ばく・職業（医療従 事者）被ばくと防護」	門脇 圭治	中四国ライブ in2025	2月22日 倉敷

研修会

研修会	FT（ファシリテータ）	学会名	開催
中央東・西地区合同地区活動 「静脈路確保の技能維持研修会」	林憲司（準備役）	第22回高知MDCT研究会	11月15日 高知
フレッシュヤーズセミナー	中村伸治（開催責任者）	新人放射線技師のためのフ レッシュヤーズセミナー	6月26日 高知

6. 画像診断部 VHJ 研修報告

- ・2025年2月13日 メディキット研修2名（説明：田村 講師：佐野）
- ・2025年2月19日 GE研修1名（説明：田村 講師：佐野）

7. 適時調査および保健所立入り検査報告

- ◆ 2025年6月11日 本院適時調査（四国厚生支局）

- ◆ 2025 年 10 月 22 日 オルソリハビリテーション病院適時調査（四国厚生支局）
- ◆ 2025 年 11 月 19 日 オルソリハビリテーション病院 保健所立入り
- ◆ 2025 年 12 月 25 日 本院 保健所立入り
- ◆ 2026 年 2 月 17 日 リハビリテーション病院 保健所立入り

* 全て指摘及び問題なく終了しています。

以上。